

01

木育ワークショップ

『ウッドブロックをつくって演奏してみよう』

日 時： 2020年9月22日（火）10：00～12：00

場 所： 幕別町百年記念ホール

対 象： 小学生と保護者

制作楽器： 幕別産の木（シラカバ、ミズナラ、カラムツ、カシワ）
のウッドブロック

講 師： 長崎結美（協力：高橋由紀雄）

主 催： 幕別町百年記念ホール

協 力： 工房 十勝の木のうつわ、幕別町森林組合



02

十勝圏域木育フェスタ in 久保の森 木育体験

『楽器づくり・森のコンサート』

日 時： 2020年9月27日（日）10：00～14：00

場 所： 豊頃町背負 久保の森

対 象： 子ども

制作楽器： カスタネット、バードコール、ウッドブロック

講 師： 長崎結美他

主 催： 十勝総合振興局森林室



『道産材によるカホン制作』

（「北海道の mokuiku（木育）」推進事業（教育における木育の推進））
として実施。



04

大人も子どもも体験学習

『木育 × 音楽プロジェクト』

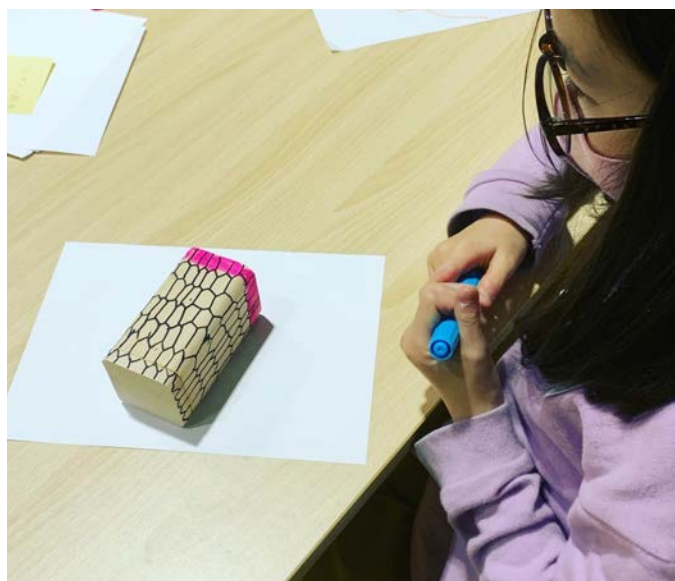
日 時： 2020 年 10 月 24 日（土） 10：00～12：00

場 所： 夢創館（恵庭市）

対 象： 15 家族

制作楽器： シェーカー、ウッドブロック

講 師： 長崎結美



05

帯広大谷短期大学授業 『木育コンサート』

日 時： 2021 年 2 月 4 日（木） 10：30 ～ 11：30

場 所： 帯広大谷短期大学、帯広大谷短期大学附属音更大谷幼稚園

対 象： 帯広大谷短期大学社会福祉科子ども福祉専攻 1 年生（長崎ゼミ）

帯広大谷短期大学附属音更大谷幼稚園 年中児 26 名

制作楽器： 十勝の木を使ったシェーカー

講 師： 長崎結美（制作協力：高橋由紀雄）

備 考： 『木育と音楽～木による楽器制作を通じた木育普及啓発』

（「北海道の mokuiku（木育）」推進事業（教育における木育の推進）
として実施。



06

帯広大谷短期大学授業

『オニグルミのプレスシェーカー開発』

日 時： 2022 年 11 月 10 日（水） 14：25 ～ 15：30

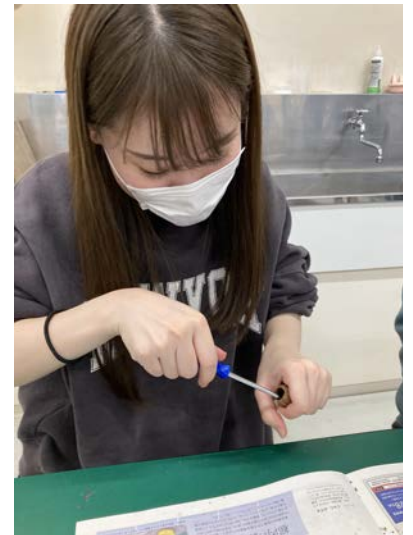
場 所： 帯広大谷短期大学

対 象： 帯広大谷短期大学社会福祉科子ども福祉専攻 1 年生（高橋・長崎ゼミ）

制作楽器： オニグルミのプレスシェーカー

講 師： 高橋由紀雄、長崎結美

備 考： 『木育と音楽～木による楽器制作を通じた木育普及啓発』
（「北海道の mokuiku（木育）」推進事業（教育における木育の推進）
として実施。



07

木育 × 木育ワークショップ 『子どもと森の音楽会』

日 時： 2021 年 12 月 20 日（月） 10：00 ～ 11：00

場 所： える夢館はるにれホール

対 象： 豊頃町内の保育園児

帯広大谷短期大学社会福祉科子ども福祉専攻 1 年生（高橋・長崎ゼミ）

制作楽器： オニグルミのプレスシェーカー、十勝の木のウッドブロック

講 師： 高橋由紀雄、長崎結美

備 考： 『木育と音楽～木による楽器制作を通じた木育普及啓発』

（「北海道の mokuiku（木育）」推進事業（教育における木育の推進）
として実施。



08

木育コンサート

『ハンマーダルシマーを体験しよう！』

日 時： 2022 年 1 月 26 日（水） 10：20～11：40

場 所： 帯広大谷短期大学附属音更大谷幼稚園

対 象： 同幼稚園全園児

帯広大谷短期大学社会福祉科子ども福祉専攻 2 年生（高橋・長崎ゼミ）

制作楽器： ピアノ端材を使ったハンマーダルシマー

講 師： 高橋由紀雄、長崎結美

協 力： ヤマハ株式会社



09

森と木のふれあいパーク

『池田町の木で打楽器をつくって鳴らしてみよう!』

日 時： 2022 年 5 月 15 日（日） 11：00 ～ 15：00

場 所： 池田町炭やき伝承広場

参加学生： 帯広大谷短期大学社会福祉科子ども福祉専攻 2 年生（高橋・長崎ゼミ）

制作楽器： 池田産の木によるウッドブロックとウッドシェーカー

講 師： 高橋由紀雄、長崎結美

主 催： 池田町林業グループ



10

木育 × 音楽講座

『みんなで楽器をつくろう！』

日 時： 2022 年 6 月 19 日（日） 13：00 ～ 15：00

場 所： 拠点複合施設りすた（夕張市）

対 象： 子ども～大人まで

制作楽器： 夕張産の角材によるウッドシェーカー、芦別の枝のウッドブロック

講 師： 高橋由紀雄、長崎結美

主 催： 夕張市教育委員会



11

木育 × 木育ワークショップ 『子どもと森の音楽会』

日 時： 2022 年 12 月 19 日（月） 10：00 ～ 11：00

場 所： える夢館はるにれホール

対 象： 豊頃町内の保育園児

帯広大谷短期大学社会福祉科子ども福祉専攻 1 年生（高橋・長崎ゼミ）

制作楽器： オニグルミのプレスシェーカー、十勝の木のカスタネット

講 師： 高橋由紀雄、長崎結美

備 考： 『木育と音楽～木による楽器制作を通じた木育普及啓発』

（「北海道の mokuiku（木育）」推進事業（教育における木育の推進）
として実施。



12

木育コンサート

『木育コンサート@木野南保育園』

日 時： 2023 年 1 月 24 日（火） 10：00～12：00

場 所： 音更町 木野南保育園

対 象： 2・3歳児（51名）、4・5歳児（52名）

帯広大谷短期大学社会福祉科子ども福祉専攻2年生（高橋・長崎ゼミ）

制作楽器： ピアノ端材を使ったハンマーダルシマーⅡ

地域材を使ったオリジナルハンマー

講 師： 高橋由紀雄、長崎結美

協 力： ヤマハ株式会社



EX.01

十勝毎日新聞 2020.10.9

帯大谷短大と振興局森林室が木育事業

道産材でカホン製作

【音更】帯広大谷短期大学（田中厚一学長）は7日、十勝総合振興局森林室（川西博史室長）と連携した木育推進事業を同短大で行った。同森林室による教育分野での木育推進は初めてで、学生たちが楽器作りや演奏を通じて木のぬくもりを感じた。



カホンの製作に取り組む学生。右は高橋講師

演奏も体験 12月に幼児向けイベント

同短大社会福祉学科子ども福祉専攻の長崎結美講師が道認定の木育マイスターでもあり、それをきっかけに同森林室が話を持ち掛けた。

同短大社会福祉学科子ども福祉専攻で、造形の授業を担当する高橋由紀雄講師の指導の下、長崎講師と高橋講師のゼミに所属する2年生14人が道産材を使用した打楽器カホンの製作を体験。福田絢乃さんは「弦を張る作業が難しかった。カホンの構造を知るきっかけになった」と話した。完成後は即興で「デイズ・ニーメドレー」を演奏し、重厚感のある音色を室内に響かせた。また、川西室長が学生たちに林業の現状や森林の恵みについて講話した。次回は12月で、1年生が道有林内のナナカマドやコブシなどの不用木で作ったマラカスなどを演奏する、幼児対象の音楽イベントを行う予定。

長崎講師は「これまでゼミ内でカスタネットなどの楽器を作ったりしたが、演奏して楽しむことにはつながらなかったのでよかった」と話し、川西室長は「木材に触れて感じたことを、保育士などの仕事に携わる学生たちが子どもたちに伝えてもらえば」と期待した。

（長瀬聡美通信員）

EX.02

十勝毎日新聞 2021.1.22

121

全力を尽くして頑張つてとエールを送った。

(水上由美通信員)

ピアノの起源 打楽器が完成 ハンマーダルシマー

【音更】帯広大谷短期大学(田中厚一学長)の木育をテーマにしたゼミで製作していたピアノの起源とされる打弦楽器「ハンマーダルシマー」が17日に完成した。社会福祉科子ども福祉専攻2年の学生のうち22人が今年度後期から、長崎結実准教授(44)と高橋由紀雄講

ハンマーダルシマーのチューニングを行う学生



師(51)のゼミで、木琴やマリンバなど木の打楽器演奏体験などを行ってきた。

ハンマーダルシマーはゼミで学んできたことを生かし、楽器の大手メーカー「ヤマハ」(本社静岡)の「おとの森」活動で提供された道産のカバやカエデなどピ

アノの響板の端材と弦を使い、4週にわたって製作してきた。

この日、ボルトとナットを組み合わせたチューニンググレンチと併せて完成させた。また、26日に認定こども園同大学付属音更大谷幼稚園で開催予定の木育コンサート「ハンマーダルシマーを体験しよう!」に向け、演奏の練習も行った。

学生らは自分たちの手で製作したハンマーダルシマーで、長崎准教授のピアノ伴奏に合わせて「ドレミの歌」「もりのくまさん」などを演奏し、コンサート当日の役割分担も決めた。

同専攻の高谷結華(ゆうか)さん(20)は「ハンマーの当て方や音の強弱などは難しいけど、幼稚園での発表は楽しみ」と話していた。(村西信一通信員)

EX.03

十勝毎日新聞 2021.1.29

本社編集局 ☎0155・22・2121

自作の打弦楽器で
園児と演奏に挑戦

帯広大谷短大

【竜更】帯広大谷短期大学（田中厚一学長）の社会福祉科子ども福祉専攻の2年生らが26日、授業で製作したピアノの起源とされる打弦楽器「ハンマーダルシマー」を使った体験会を、認定こども園同短大付属音更大谷幼稚園（嶋崎隆則園長、園児115人）で行った。



同専攻の長崎結美准教授

のゼミ生10人と、高橋由紀雄講師のゼミ生12人が、木育をテーマにした授業の中でハンマーダルシマーを製作し、17日に完成させた。

この日、学生らは3グループに分かれ、年少・年中・年長児別に「ドレミの歌」のデモンストレーションに「ハンマーダルシマー」の演奏に挑戦する園児たち

ーション演奏を披露。その後、即興演奏を交えながら絵本の読み聞かせをした。引き続き、園児たちは先生らに教わりながら「幸せなら手をたたこう」などの演奏に挑戦。体験した園児は「楽しかった」「ドキドキした」と喜んでいて、園児をサポートした眞田明奈（はるな）さん（19）は「（園児は）最初は緊張していたけれど、次第に笑顔になったので、改めて音楽の力を実感した」と話していた。（村西信一通信員）



こぼろ先生の指導を受ける参加者

座ってできる体操
こぼろ先生が解説
介護予防講演会

【池田】池田町介護予防・生活支援体制整備協議体住民啓発講演会が24日、ロココ2号店（マックスバリュ池田店2階）で開かれた。「こぼろ先生の座ってできる体操講座」と題して、G OBOU代表の築瀬寛さん

EX.04

十勝毎日新聞 2022.3.22

広がる「木育」

幼少期から木に親しみ、木や森との関わりを自ら考えられる豊かな心を育てる「木育」。北海道が進めるこの取り組みが十勝でも広がっている。帯広大谷短期大学（音更）では、音楽を通じた新たな形の木育を進め、子どもたちに木と触れあう機会を設けている。

木育は木とふれあい、木に学び、木と生きる。度認定Ⅱが中心となり、2年生のゼミ活動で取り組んでいる。

4年から進める取り組み。木を使ったものづくりなどを通して、人や自然に対する思いやりや優しさを育むほか、地域の個性を生かした木の文化を育み、人と自然が共生できる社会の実現を目指す。

同短大では、道が認定する「木育マイスター」の長崎結美准教授（44）が、21年度は大手楽器メーカー「ヤマハ」（本社静岡）と連携した取り組みを企画している。

同短大では、道が認定する「木育マイスター」の長崎結美准教授（44）が、21年度は大手楽器メーカー「ヤマハ」（本社静岡）と連携した取り組みを企画している。



木育マイスターの（左から）長崎准教授、高橋講師。2人のアイデアでさまざまな楽器を作った。

五感楽しい木の楽器

帯大谷短大のゼミで製作し演奏会



豊頃で行われた木育イベントで、木の楽器を楽しむ子ども（2021年12月）

子どもの心を豊かに

みも。ヤマハからピアノの端材提供を受け、学生らがピアノの起源と称する「ハンマーダルシマー」を製作。1月には音更大谷幼稚園の園児らと高橋講師は「将来、小さな

演奏会を行った。

この他にも、子どもらと交えて民族楽器からヒントを得たクルミのプレスシェーカーや木のマラカス、ウッドブロックを製作。子どもらと学生で木の種類や大きさによる音の違いを楽しみ、木に興味を持つきっかけづくりに励んでいる。

長崎准教授は、幼児期の発達への音や音楽の重要性を挙げ「五感で音や触り心地を楽しむ、木の



木育マイスター道が認定する、木育普及の専門家。それぞれの得意分野を生かし、木育活動を進める。道によると、3月現在で299人を認定している。

動画は電子版で

（石川彩乃）

EX.05

北海道新聞 2022.6.21

目を皿に四つ葉クローバ探し ていく

松本清世子

山口 たへ

またくる

小林 まこ

地元のハルニレ 楽器に

夕張 市民学習講座で制作

【夕張】地元産木材を使って楽器を作る市民学習講座が19日、市拠点複合施設りすたで開かれた。4歳から80代までの35人が参加し、ウッドシェーカーなど2点を完成させた。

木育に音楽を取り入れ、自然の魅力を伝えている帯広大谷短大の長崎結美准教授と高橋由紀雄講師を招いた。楽器は木の中に小豆や針金を入れ、振って音を出すウッドシェーカーと、木材に切り込みを入れ、ばちでたたいて音を出すウッドブロックを選んだ。

木材は旧清水沢小学校庭に残っていたハルニレを用意。参加者はのこぎりを手

に、切ったり、切り込みを入れるなどして完成させた。ウッドシェーカーは切り込みの入れ方によって音の高低が変わることを実感し、驚きの声が上がった。市教委の山口一樹社会教育主事は「夕張は自然の魅

力にあふれている。これからも身の回りにある自然を大切にしながら講座を開きたい」と意気込みを話した。市民学習講座への問い合わせは社会教育係 ☎ 0123・57・7711 へ。

(高橋浩志)



楽器を完成させて笑顔の参加者
(夕張市教委提供)

演 出

長沼

世界レベルのスピードを再現して見せる
二條実穂さん

てみる。できなかったら、どうしたらできるようになるかきこえ。そういって

など1次試験は8月6日、2次面接は同20日。申込書



EX.06

十勝毎日新聞 2022.12.24



2022年12月24日の紙面一覧

楽器を作る子どもたち



楽器作り音遊び
園児たち楽しむ
茂岩・大津

【豊頃】 茂岩保育所(下

重博光所長、園児68人)と大津保育所(同、園児6人)の年少・年中・長男54人を対象にした「木育×音楽ワークショップ」子どもと森の音楽会『2022』が19日、豊頃



町える夢館はるにれホールで開かれた。園児は木のぬくもりに触れ、楽器作りや音遊びを楽しんだ。

幼児芸術鑑賞会の一環として実施。帯広大谷短期大学の長崎結美准教授と高橋由紀雄講師の指導を受けている、社会福祉科子ども福祉専攻の音楽造形ゼミの学

生18人が指導した。

楽器は5歳児が「ブレスシェイカー」、3〜4歳児が「カスタネット」を製作。材料のクルミやカスタネットの木片はサクラやハルニレの木を学生が事前に加工して用意。園児は好きな色を塗り、木のビーズをゴムに通すなどして仕上げた。

茂岩保育所年長の相澤昂瑠ちゃん(5)は「ビーズを通すのが難しかったけど、上手にできた」と喜んでいった。園児は作った楽器で「ジングルベル」の演奏や、絵本の読み聞かせに合わせて楽器を鳴らして遊んだ。最後は「きつねダンス」を学生と一緒に踊って楽しんだ。

同短大の小祝里菜さん(18)は「事前の準備は大変だったが、園児が楽しんでくれて安心した」と話した。(水上由美通信員)